

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1254	(H.24)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	ワンストップ福祉相談支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	地域包括支援センター	田中明子	

会計区分	事業コード	121601
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 民生費	地域包括ケアシステム推進事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 社会福祉総務費	ワンストップ福祉相談支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	3	健康福祉ネットワークの構築
	施策	1	健康福祉ネットワーク
	小施策	2	情報提供・相談体制の整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
各種福祉サービスや地域住民等によるインフォーマルな活動等を有機的に連携・連結させ、包括的・継続的なサービス提供を支える地域包括ケアシステムの構築をすすめることができる。
事業内容
まちの保健室のコーディネート機能を強化することで、子育て世代から高齢者まで対象を問わない包括的なワンストップ相談支援体制を整備する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	まちの保健室職員 人件費 2,894,000円 スキルアップ研修 2回開催 報償費 56,960円 51,040円 子育て支援リーフレット等の作成 印刷製本費 100,000円 市の施策等に関する研修2回 子育て世代に対するニーズ調査委託料 182,833円 先進地視察(富士宮市) 旅費 166,600円	H25.7.31 誤記訂正

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	4,143千円				
内訳(千円)	国・県支出金	4,143			
	地方債				
	その他()				
	一般財源	(0) 0	0	0	0
人工数	職員	0.45人			
	臨時職員等	0.96人			
	概算人件費	(0千円) 5,097千円	0千円	0千円	0千円
	+ 総事業費	(0千円) 9,240千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
まちの保健室職員の資質向上のため、各種研修や講義を行った。職員自身の気づきを促し、地域の問題点に目が向けられるよう意識づけられた。今後も継続実施の必要である。	国庫補助事業は24年度の単年度事業のため事業終了となるが、まちの保健室職員の資質向上は、継続実施していかなければならない。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	まちの保健室の機能は、地域福祉を推進していく上で重要な位置づけとなっていく。そのため、職員の資質向上は必須である。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	民生委員・児童委員、地域づくり関係者等との連携・協働により、地域住民へ相談支援を実践している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画